

NPO 法人 多文化共生リソースセンター東海 活動視察

日 時：平成26年11月1日（土）

場 所：中区錦 「au NAGOYA」3階

【NPO 法人多文化共生リソースセンター東海について】

東海地方の多文化共生社会の形成に寄与することを目的として設立された非営利団体で、これまでも様々な自治体やNPOなどと連携・協働して事業を実施してきました。

愛知県は、東京・大阪に次いで全国で3番目に外国人が多く暮らす都市であり、その国籍は159ヶ国にもものぼります。ところが、『名古屋市外国人市民アンケート調査結果報告書』によると、日本人と触れ合う機会は挨拶程度、もしくは言葉を交わさないと答えた人が6割を超える結果になりました。また、同アンケートによると、日本人市民と外国人市民との間に起こるトラブルの要因の1位が「お互いに文化・習慣・宗教の違いを認識・理解していないため」となっています。

このことから住民間の理解促進が最重要課題と考え、今回は、愛知県初となる多文化共生をテーマに掲げた住民参加型の映画祭を開催し、映画鑑賞を交流のきっかけとして、多文化共生の推進を図りました。

【活動の様子】

■ あいち多文化映画祭2014

小雨が降る秋の土曜日、『あいち多文化映画祭2014』の初日を迎えました。このイベントは、名古屋市における多文化共生の促進を目的とした映画祭で、10月4日のプレイベント『ハーフ』を経て開催されました。今回は6本の映画の上映および上映後のゲストトークを行い、文化理解や参加者同士の交流の場としました。映画およびゲストの詳細は下記の通りです。



日時	11/1 (土)		11/2 (日)		11/3 (月・祝)	
時間	12:30-15:25	16:00-18:30	10:00-12:00	13:00-16:00	12:30-15:25	16:00-18:30
上映作品	ウリハッキョ 監督：キム・ミョンジュン 2006年/131分 外国人学校	サルサとチャンプルー 監督：波多野哲郎 2007年/100分 キューバ 日本人移民	A Escolha (ア・エスコーリャ) 監督：津村公博 2014年/40分 ブラジル	すぐそばにいたTOMODACHI 監督：セシリア亜美北島 2011年/95分 ビルマ 東日本大震災	パリ20区、僕たちのクラス 監督：ローラン・カンテ 2008年/128分 フランス 多国籍学級	茜色の約束 サンバdo金魚 監督：塩崎祥平 2012年/96分 ブラジル
ゲスト	山本かほり	松田薫 レオ	津村公博 吉田ガブリエラさゆり	羽田野真帆	渋谷努	塩崎祥平



会場には、前方にスクリーン、右手に映画に関連した内容のパネルが設置されていました。

12時半になると、まず多文化共生リソースセンター東海の代表理事を務める土井さんが挨拶をし、イベントの趣旨と注意事項を伝えたあと、上映を開始しました。



この日の上映作品は「ウリハッキョ」でした。北海道朝鮮初中高級学校に通う子どもたちや教師の日常を写したドキュメンタリー作品を、日本語字幕付きで鑑賞しました。

131分の上映が終了したあとは、愛知県立大学教授の山本かほりさんがゲストとして登場し、映画内容の解説や補足説明を行いました。

この日は上映時間が長かったため、参加者の質問等交流の機会は取りやめとなったようです。



午後3時半頃に『あいち多文化映画祭2014』の初回は終了しました。終了後の会場では、上映作品の内容について語り合う人々の姿も見られました。



～ばやしの感想～

普段、日本に住まれている外国人のことや、海外で起きている事柄についてふれる機会はなかなか無いため、映画という参加者が訪れやすい方法で、様々な種類の映画をとおして現状などを知ることができる、よい場所となっていました。参加者は日本人の老若男女や外国人と幅広く、いろいろな人達が多文化共生について興味を持っているのを感じました。今回の活動によって、日本人と外国人の理解が深まることを期待します。



～くーちゃんの感想～

やや肌寒く感じる天気の中、傘をさして辿り着いた会場は明るく綺麗で、これから始まるイベントに対する期待が高まる雰囲気でした。この日鑑賞した作品は、登場した子どもたちの元気で素直な姿が印象的で、今後も伸びやかに育ってほしいと思いました。質問等の交流時間がなかったのは残念でしたが、多文化について話せる機会は日常にあまり多くないと感じるので、このような場を大切にしていくと良いと思います。